

健康科学先導専門人材育成 (健康コンシェルジュ)

理化学研究所を中核に展開している「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム」事業（※1）では、個別健康の最大化のために、融合研究推進、事業化推進と並び、健康・健康科学分野で活動することが出来得る、専門人材・推進人材などの新しい人材育成を実施しています。

これまでに、2015（平成 27）年の事業採択以降、採択拠点の今後を担う「起業・事業化、新人材創出」に関わる育成として神戸大が主体となり「アントレプレナーシップ系人材育成」、兵庫県立大が主体となり「情報・シミュレーション人材育成」講座を開講致しました。

2018（平成 30）年度からは、既実施の育成講座に加え、理化学研究所が主体となり、神戸大学、兵庫県立大学、兵庫県、神戸市他参画機関の一部と協働し、「健康科学先導専門人材育成」を開始し【健康事業開発コンシェルジュ】と【健康生活コンシェルジュ】の2つの講座を開講致しました。

【※1】「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム」事業（<https://rc.riken.jp/>）

「健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が 2015（平成 27）年度から実施している新規事業、【世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム】の第一号の拠点として 2015（平成 27）年 11 月 26 日に採択決定されたプログラムです。このプログラムは、地域に集積する産・学・官・金（金融機関）のプレイヤーが共同で 5 年後、10 年後からその先に実現される地域の姿と社会的価値を「ビジョン」として掲げ、国内外の異分野融合による最先端の研究開発、成果の事業化、人材育成を一体的・統合的に展開するための複合型イノベーション推進基盤としてのリサーチコンプレックスを成長・発展させ、地方創生にも資することを目的とするプログラムで、2015（平成 27）年度から 2020（平成 31）年度までの 5 カ年の支援期間に、①異分野融合共同研究開発、②事業化支援、③最先端研究設備の共同利用、④人材育成・共同カリキュラム、⑤推進体制強化の 5 つのリサーチコンプレックスの事業ツール全てを活用して、より正確な健康維持・増進への指針、つまり健康“生き活き”「羅針盤」の提供を目指す事業プログラムの成長・発展を推進しています。



健康生活コンシェルジュ講座

では、昨今のヘルスケアビジネスの発展により、多種多様なヘルスケア商材が続々発売され、その取捨選択に戸惑う方々が多くなる上、今後あらゆる場所で健康測定機器によるチェックサービスの増加が予測される一方、測定機器の技能者やその測定データを読み解いてアドバイスできる人材の不足が懸念されることから、このような専門人材の育成プログラムの開講に至りました。美容サロン、ショッピングモール、飲食店、旅行先など、医療機関に行く前の日常生活動線の様々な場所場所で、あらゆる立場の方々が、より正確な健康維持・増進への羅針盤を的確に示し導けるために健康科学の専門的な知識を有したヘルスコンシェルジュとして、個々に適切なサポートが行え活躍していけるようなカリキュラムを目指しています。

講座には2つのコースがあります。

- ・健康科学の専門的な知識の取得や向上を目的とするe-ラーニングのみのコース
- ・個々のデータを読み解き健康状態を説明しアドバイスできる実技実習を含むコース

実績として、2018年度31名、2019年70名の育成に成功しています。

受講生の中からは実際に計測事業の測定者として活躍する方が出てきていたり、周辺企業から社内教育プログラムへの採用検討も始まるなど、事業継続化への展開が具体的に見え始めています。

(共同開催) 理化学研究所健康生き活き戦略リサーチコンプレックス推進プログラム
一般社団法人 次世代健康社会へムスツ推進協会

健康「生き活き」プロジェクト

QFDH&H

一人ひとりにぴったりの健康生活のお手伝い

健康生活コンシェルジュ (HLC)

受講生募集 <2019年度 前半期 募集分>

A: 健康科学基礎コース (e-ラーニング)
B: 健康計測技能コース (計測実技実習等 + e-ラーニング)



◆開講予定コース

- A: 健康科学基礎コース (期間 約2ヶ月)** **B: 健康計測技能コース (期間 約6ヶ月)**
- ・e-ラーニングによる受講と修了判定
 - ・募集定員 25名程度
- ・計測に関する実技実習・座学とe-ラーニングによる受講および修了判定
 - ・募集定員 20名程度

【主な開講講座(予定)】

基礎 (e-ラーニング)	基礎フォローアップ (e-ラーニング)
・健康生活コンシェルジュ概論	・健康データ利活用
・健康科学とは	・健康計測機器・医療機器概論
・生活習慣と健康	・健康計測技能 (e-ラーニング)
・食と健康	・健康計測実技概論
・運動、スポーツと健康	・健康計測実技各論
・疲労・休息と健康	・血圧、自律神経、能力、体組成等、骨密度、
・睡眠と健康	・糖化ストレス、血液検査、認知機能、質問察、
・生命倫理/個人情報保護/開港法規	・活動量、毛細血管血流、その他
・健康情報/コミュニケーションと周辺知識	・健康計測実技 (実習 <Bコースのみ開講>)

健康生活コンシェルジュは、個人や企業(企業内研修)などに対し、各人に最適な日常生活のヒントを提供するため、科学的な知見に基づいた、より正確な健康維持・増進への的確な提案を実施し、健康生活を導くことを支援・お手伝いすることが出来る人材です。

また、健康科学の専門的な知識を有するこのような人材は、顧客・一般の方々のニーズに応じ個別に適切な相談のあるアイテムやサービスを紹介することで健康生活を実現するための支援や解決方策の示唆が出来る人材といえます。これらのスキルの習得は各人の健康状態を把握する種々の「健康計測」を通じて得られる情報に基づいても適切なコンサルティングが出来る人材であることが基本となります。

そのために心身に關する医学的な基礎知識や、運動、休息、食事等、日常生活で健康に關わる様々な知見・知能を幅広く習得していただきます。誰もが日常的に行き交う街の其処彼処での計測による健康情報の獲得～健康維持・増進や健康経営に結び付くソリューションの紹介や導入支援まで、健康づくりの最前線を担う人材の育成を目指しています。

【2018-2019 年度 講師】

健康生活コンシェルジュ (HLC)

2018 年度 受講生募集



【実技実習】

座学：1日 (8時間)

ロールプレイング：1日 (8時間)

現場実習：1日 (4時間)



リサーチコンプレックスで実施している健康計測の測定手技のカリキュラムに関しては、NPO 健康ラバステーションとの連携により実施しています。

内容の詳細は事務局までお問い合わせください。

お問い合わせ先：FDH&H 事務局

健康事業開発コンシェルジュ講座 では、

ヘルスケアの事業開発や新規参入を行う企業等に対して、その分野の知識をもち、先導的な役割を担う専門人材（健康事業開発コンシェルジュ）を育成することを目的として、理化学研究所、神戸大学、兵庫県立大学、兵庫県、神戸市等と連携してカリキュラムを構築しました。2019年1月～2月と2019年9月～11月に開講した同講座から50名以上のコンシェルジュを世に送り出すことに成功致しました。ヘルスケア業界において網羅的な知識を得ることができる本カリキュラムに加え、「人と人とのつながり」を大切にし、異分野交流により視野を広げることがビジネスにとって重要と考え、講座最終日には交流会を実施致しました。

2019年度は特別セミナーとして、AI講座、ウエルネス講座の2つを実施致しました。

AI講座は、現代の人工知能、機械学習の基礎を脳の情報処理様式を模倣したニューラルネットワークを中心として、基礎から機械学習の実装まで、ビジネスに活かすために押さえておくべきポイントを学ぶ講座です。2019年6月～8月にかけて、講義11回、実習5回のカリキュラムで実施致しました。

ウエルネス講座は座学だけでなく、グループディスカッション等の体験を取り入れたワークショップ形式で、ウエルネスとは何であるかを学ぶ講座です。地域の健康づくりや心身の保養、ロコモティブシンドローム予防に貢献することを目的としています。講座内容は、単なる健康な身体づくりだけでなく、自分自身に合った最高のライフスタイルを築くことを目指し、自らの人生に責任を持ってQOLへの関心を高めるよう主体的に取り組めるカリキュラムで実施致しました。

【2018－2019年度 講師】



回	日程	テーマ	講師
1	9/7 (土)	化粧品	松井伸人 (FMD K&L Japan 株式会社) 高須愛子 (神戸医療産業都市推進機構) 高野勝弘 (日本化粧品工業会) 松崎薫 (P&Gイノベーション合同会社)
2	9/28 (土)	機能性食品・飲料	矢澤一良 (早稲田大学) 千葉剛 (国立栄養研究所) 柿野賢一 (有)健康栄養評価センター)
3	10/5 (土)	健康機器	小林洋 (理化学研究所) 神野武夫 (日本ホームヘルス機器協会) 大畑光司 (京都大学)
4	10/19 (土)	周辺知識と機能	卯津羅泰生 (理化学研究所) 森一郎 (神戸大学) 田畑司 (兵庫県) 上月浩 (兵庫県) 田月幸一 (神戸市)
5	11/2 (土)	周辺知識と機能 健康情報	松井伸之 (兵庫県立大) 南雲俊一郎 (日本総研) 黒田祐輝 (大江橋法律事務所) 坂井貴行 (神戸大学)

回	日程	テーマ
1	4/27 (土)	ウエルネスとは
2	5/18 (土)	寿命統計とライフプラン
3	6/15 (土)	環境と健康
4	8/24 (土)	感動と健康
5	9/21 (土)	価値観と健康
6	10/26 (土)	タイプA行動と健康
7	11/16 (土)	運動と健康
8	12/21 (土)	食と健康
9	1/18 (土)	ファーストフードと健康
10	2/15 (土)	食品添加物と健康

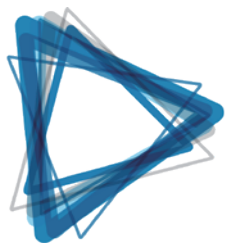


回	日程	基礎/応用	テーマ
1	6月19日	基礎	現代AIの基礎：機械学習、ニューラルネットワーク、ディープラーニングとは？
2	6月22日	基礎	機械学習で何ができるか？
3	6月26日	基礎	脳を模倣する：脳構造と神経細胞（ニューロン）
4	6月29日	基礎	ニューラルネットワーク基礎1：ニューロンモデルとニューラルネットワークアーキテクチャ
5	7月6日	基礎	ニューラルネットワーク基礎2：学習
6	7月10日	基礎	様々なニューラルネットワーク
7	7月13日	応用	深層学習へ
8	7月17日	応用	画像認識に導いたニューラルネットワーク
9	7月20日	応用	音声認識に導いたニューラルネットワーク
10	7月24日	応用	組合せ最適化問題を解くニューラルネットワーク
11	7月27日	応用	応用広がる多様なAI技術
1	7月31日	実習 (説明)	機械学習にPythonを使用する：Python入門
2	8月3日	実習	Pythonで機械学習を実装：教師あり学習 (回帰)
3	8月10日	実習	Pythonで機械学習を実装：教師あり学習 (分類)
4	8月14日	実習	Pythonで機械学習を実装：手書き数字の認識
5	8月17日	実習	Pythonで機械学習を実装：教師なし学習



健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラムでは講座受講者に、今後活躍できるフィールドを提供するために「人材登録システム」を構築致しました。

健康“生き活き”羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム事業終了後（2020年4月以降）は、その後継組織として、(株)COPELコンサルティングと(一社)次世代健康社会・ヘルスケア推進協会が連携して講座を開講し、関連産業や健康社会で活躍できる人材の育成を目指していきます。また、人材バンクを活用し、各企業様の様々な課題解決に対応する人材育成研修などの人材開発支援も行っていきます。



健康“生き活き”羅針盤
リサーチコンプレックス



株式会社 COPELコンサルティング



【問合せ先】

株式会社 COPEL コンサルティング

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町 4-1-3 大阪センタービル 6 階 billage OSAKA

TEL：06-7670-0115 E-mail：info@copelcs.jp

一般社団法人 次世代健康社会・ヘルスケア推進協会

〒108-0074 東京都港区高輪 3-13-3 シナガワゲース 4F（メディシンク内）

TEL：03-6459-3960 E-mail：info@fdhh.jp